

四万十町 議会だより

(題字は窪川小学校6年生田井結海さん)

(紹介記事はP.22)

NO.77

2025年11月10日発刊
高知県四万十町議会



9月定例会(会期9月3日~9月12日《10日間》)

- P.2~P.3 補正予算質疑 他
- P.4~P.15 一般質問 地元高校の振興など…11人が質す
- P.18~P.19 常任委員会報告
- P.20 決算認定
- P.21 キャッチボール (しまんと健康ステーションについて)
- P.22 ありやどうなっちゅうぜよ (畜産振興事業について)

私立保育所が年間2億1000万円ほどだ。

当初の見込みでは国庫
基本設計

Q 十和小学校、十和中学校の新築工事

Q ふるさと納税取扱
手数料260万円

Q 十和診療所、大正

診療所、大道へき地診療所に対する繰り出しがの内容を問う。

A 十和診療所の繰出
金については職員
の人事費に対する増額補
正となつた。大正診療所
の繰出金は診療報酬増に
より減額補正となつた。

積もられていた。公費負担の基準になる公定価格が人件費の上昇により変動している。その結果今回は公費負担相当分の算出割合により委託料が増え、補助金が減ったが総額としては変わっていない。

大道へき地診療所については人件費、診療報酬増に対する見込みでの補正予算となつてゐる。

A **私立保育所の事務局職員は例年2名** Q **児童福祉協会運営費補助金について**

Q 私立保育所運営費 補助金の減額理由 私立保育所運営費委託料 増額理由を問う。

公立保育所が年間6億円
は保育所運営費は

A 今後、児童・生徒数の減少が予想される中で、維持管理費などのことも考えると、で
きるだけ低層階での建築が良いのではと考えてい
る。今後、基本設計が進
む中でもう少し詳しい内
容が確定して、

この手数料はポータルサイトにかかる手数料で、非常に幅が広く8%～12%程度となっており今回その割合を見直した結果、減額となつた。

Q 建川中学校校舎劣化状況調査委託料

A この事業は特用林
Q 特用林産振興事業
の中の事業補助金
300万円について

篠川中学校には北側と南側に校舎がある。南側の校舎の庇にひび割れが発見された。補修工事をするにあたりこのひび割れの影響がどの程度あるかを調査する必要が生じたもの。

A この事業は専用材
産物の生産振興及
び生産者の経営安定を図
る目的で過疎地域持続的
発展特別事業基金から3
00万円を充当している
補助対象はシイタケの
原木調達支援、木炭の原
木調達支援、栗の苗木植
栽支援など。





議案審議

部を改正する条例について

工事名

令和7年度 壺川運動場夜間照明LED化等改修工事

町道秋丸弘瀬線の維持管理作業中に起きた損害賠償の額を定めることについて

Q 3歳未満の子どもを養育する職員に

対しての条例改正である

が、3歳以上の子どもに

対しての対応に関してはどう考えるか。

Q 作業中の安全管理体制、事故防止の

ための指導はされていない

ようだが、安全対策への周知徹底は行われてい

たのか。

A 今回の改正は国の法律改正に伴つて

の町条例の改正であり、

町独自に行なうことは現時

点では考えていな。3歳

歳以上の子どもに対しても、看護休暇制度で対応

可能である。

契約の相手方

6834万3000円

契約金額

指名競争入札による契約

四万十町下呂地313番地

岡山電気株式会社
代表取締役 岡山昌司

条例

契約案件

壺川運動場夜間照明LED化等改修工事請負契約

四万十町職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一



壺川運動場

一般質問

執行部を質す



林 健三 議員 P.5

- 事前にアンケートを実施するべきではなかったか（投票所の統合）
- 猿による被害の対策を



中屋 康 議員 P.6

- 持続に向けた支援策を示せ（介護保険事業）
- 学校の熱中症対策指導は



山本 大輔 議員 P.7

- 地域おこし協力隊（民間企業等受入型）の積極活用を
- 河内神社の対応について



水間 淳一 議員 P.8

- 水道管の維持管理・耐用年数は
- プールの対策は万全か



佐竹 将典 議員 P.9

- なぜ野球部新設計画は始まったか



村井 真菜 議員 P.10

- クリーンセンター銀河の更新計画は
- 高校再編計画に対しての取り組みは



武田 秀義 議員 P.11

- 外貨を稼ぐ施策に取り組むべきでは
- 後援会の発足と地域をどのように盛り上げていくか



中野 正延 議員 P.12

- 介護施設への支援や新設は
- 今後、米の価格はどのように推移するのか



伴ノ内 珠喜 議員 P.13

- 消防広域化に向けた本町の動きは
- コミュニティバスについてどう捉えているのか



下元 真之 議員 P.14

- 人件費高騰分は交付税措置されていないか
- ふるさと納税は臨時収入を使う仕組みに落とし込むべき



味元 和義 議員 P.15

- 今後の対策は（人口減少対策）
- 縦割り組織を廃し職員数と時間外の減少を

一般質問は議員自身の考え方をもとに、持ち時間一人60分の制限時間の中で、町長や教育長の方針・考え方を問うもの。9月議会では11人の議員が質問。議会だよりでは質問と答弁を要約し掲載する。

投票所の統合



林 健三 議員

事前にアンケートを実施するべきではなかったか 投票後のアンケートが現実的

／総務課長

林 健三 議員

この選挙で統合した投票所の有権者に対しても、十町では問題はなかったか。

佐竹 総務課長

第27回参議院議員通常選挙での本町の投票率は62・97%で、期日前投票は28・3%、当日が34・21%で四万十町選挙管理委員会の開票事務においては、特に問題はないと感じている。

林 健三 議員

この選挙で統合した投票所の有権者に対しても、十町では問題はなかったか。



移動期日前投票所

事前にアンケート調査をするべきではなかったか。

林 健三 議員

大正地域では猿、野ウサギ、ハクビシンの被害が増大している。農作物を守る対策・支援はな

いか。

武田 農林水産課長

大正地域では猿、野ウサギ、ハクビシンの被害が確認されている。このため、有害鳥獣としての捕獲期間を1年中に拡大し、捕獲報奨金も一頭3万円に設定し、捕獲頭数向上に向けた支援を行っている。ハクビシン、

志和に設置の捕獲檻

円に捕獲報奨金を設定している他、侵入柵の設置補助や既存施設の修繕補助等の支援も行っている。

鳥獣害対策

猿による被害の対策を 猿被害総合対策普及事業と連携

／農林水産課長

佐竹 総務課長

この選挙で統合した投票所の有権者に対しても、十町では問題はなかったか。

武田 農林水産課長

大正地域では猿、野ウサギ、ハクビシンの被害が確認されている。このため、有害鳥獣としての捕獲期間を1年中に拡

大正地域では猿、野ウサギ、ハクビシンの被害が確認されている。このため、有害鳥獣としての捕獲期間を1年中に拡



志和に設置の捕獲檻

林 健三 議員

志和地区で行っている猿の駆除対策を、他に開できなかいか。

武田 農林水産課長

志和地区で行っている猿の駆除対策を、他に開できなかいか。

志和に設置の捕獲檻

し捕獲事業を行っている。この同様の事業の他地区への展開は今のところ未定であるが、捕獲檻の実績等を踏まえ効果を検証したいと考えている。

持続に向けた支援策を示せ

町独自の支援策を検討／町長



中屋 康 議員

状況にあると聞く。町として、経営面等の支援を一定行っているが、廃止に至る通所や入所事業所もある。

引き続き情勢を確認し、必要とする人に介護サービスが提供できるよう取り組んでいく。

中屋 令和6年度に介護報酬が改定された。これによる介護現場の状況と支援について町の考えは。

中屋 持続可能な介護保険制度について、2025年問題が到来し、更に充実した支援を図るべきだが、町長の展望を聞く。

三本高齢者支援課長 改定で介護職員の処遇が改善された一方、訪問介護はマイナス改定になつている。

事業所によつては利用者が減少し、厳しい運営

中尾町長 支援として今回は国の物価高騰対策支援交付金を



訪問介護サービス（入浴準備）

活用して行つてはいるが、介護人材の確保、訪問介護の事業所支援等について、介護現場やケアマネジャーの意見を聴取しつつ町独自の支援策も検討していく。

中屋 活用して行つてはいるが、介護人材の確保、訪問介護の事業所支援等について、介護現場やケアマネジャーの意見を聴取しつつ町独自の支援策も検討していく。

中屋 猛暑が続く今夏、授業時の熱中症対策と、児童・生徒の状況は。

学校の熱中症対策指導は各校マニュアル化して対処／教育次長

熱中症対策

川上教育次長 各校

それぞれで危機管理マニュアルの中に「事前・初動・事後」の3段階に整理した対応策を盛り込み対処している。

危険とされる判断は、熱中症指数計で計測する

指数28度以上で、厳重警戒31度になれば屋外での活動は原則中止としている。

本年度の熱中症として病院で診療を受けた事案が2件、症状が疑われ対処した事案が小学校16件、中学校13件と報告を受けている。

川上教育次長 プール授

業は水温プラス気温が65度を超えると授業を中止

としている。夏休みのプール開放は、令和3年か

ら保護者の負担などを考慮して開放しない旨の通達をしている。



大型扇風機とスポットクーラー

中屋 水泳授業と夏休み中のプール稼働状況と、

現場の要望を踏まえた整備を検討していく。

事業者支援



山本 大輔 議員

就職の説明会等は行つて
いるが、就職への誘導や
指摘の免許取得費用等の
支援といった取り組みは
できていない。今後はそ
ういった部分も必要であ
ると思うので検討してい
きたい。

..

による不可抗力であるこ
とから損害賠償の適用外
という回答があった。町
道の管理については、道
路作業班によるパトロー
ル等で道路状況等の把握
に努めているが、今回の
事故については、自然災
害によるもので管理者と

地域おこし協力隊(民間企業等受入型)の積極活用を 町としても積極的に活用したい ／にぎわい創出課長

山本 地域問題の解決や事業者支援の有効な手段にすべく、免許取得費用、キャリアアップの資格取得費用の支援等、積極的に取り組む考えはないか。

昨年度からは拠点事業も幅を広げたりと、町としても積極的に活用しながら考えている。

山本 損害賠償の有無、
町としての管理責任はどう
う考えるか。

吉川十和地域振興局長

令和6年8月の台風10号の大雨による影響で町道が崩壊し、河内神社が損傷した事故については、保険会社から、弁護士等との様々なやりとりの結果、今回の件は自然災害によるものであることが判明しました。

しての瑕疵はないものと
認識している。

山本 町の文化財としての観点から今後の対応についてどう考えるか。また文化財の保存・活用のための柔軟な対応策は。

今西生涯学習課長 ます
は指定文化財として修復
可能かどうか、審議会等
に諮っていく考え方である。
その結果、文化財として
修復可能となれば文化財
保護事業の補助金を活用
し、修復する方法で地元

とも協議をしていく。
文化財の保存・活用について、有形の文化財は、建物、佇まい自体が文化財として認定されている。審議会の意見も尊重しながら十分に検討していく。

本町の人口不足解消の有効な手段にはならないか。

効力不足の解消といつたところも踏まえているが、本制度の目的と、事業者側の労働力確保の手段で乖離がある。当初は新規事業に限定していたが

文化財の保存・活用 河内神社

神社の対応について
審議会等に諮り検討していく

生涯學習課長

その他の質問

- 本町の財源について
 - 遊休資産（廃校校舎）の利活用について
 - ふるさと納税について
 - 痛川高校野球部の復活について



河内神社の被害状況

水道管の維持管理・耐用年数は40年

／環境水道課長



水間 淳一 議員

てはならない。維持管理はどのように行っているか。

戸田環境水道課長 維持管理委託業者による点検を毎週行っている。

水間 本町の水道管の総延長は。また、耐用年数は。

戸田環境水道課長 水道管の総延長は約538kmで、管路の法定耐用年数は40年となっている。

水間 水道事業は企業会計であり受益者負担が原則と考えるが、受益者負担だけでは賄つていけない現実がある。

将来的には、財源の問題なども考えているのか。

水間 毎日の生活に直結した水道事業は維持管理に細心の注意を払わなく



水道管工事

課内に設置している遠方監視システムで、浄水池や配水池の水位、配水量等を毎日確認している。

戸田環境水道課長 維持管理委託業者による点検を毎週行っている。

現在改定中の経営戦略や耐震化計画などを基に、来年度から検討を始める予定。一定の方針が出た段階で改めてお示しする。

プールの対策は万全か 県の安全管理指針を全教職員で共有

／教育次長

安全対策

水間 十分な安全対策の下で水泳授業を行っていると思うが万全か。



川上教育次長 緊急時の対応マニュアルや県の安全管理指針を全教職員で共有し、水質検査、水温・気温・暑さ指数の測定、家庭からの健康カードな

● 旧本庁舎の跡地利用について

その他質問



佐竹 将典 議員

なぜ野球部新設計画は始まったか

町外から積極的に生徒を呼び込むため

／教育次長

佐竹 いつ頃から、なぜ

滝川高校に野球部を新設する計画が始まったか。

川上教育次長 この話が

町に来たのは今年の4月だ。今年の3月に県が県立高校の振興・再編計画を発表した。その中で滝川

高校は入学者41人以上、地元からの進学率50%以上という努力目標が設定されている。滝川高校も

町外からの生徒を積極的に呼び込んでいくためのきっかけとして、野球部新設を支援していく計画となつた。

一つ目は、個人事業主と

して委託する形。二つ目は高校の魅力化コーディネーターとして、会計年

度任用職員として町が雇

用する形。三つ目はスポーツクラブなどに受け入れていただく方法である。

佐竹 県下の中学生などに生徒募集はされてきたのか。

現在は中学校の教員とい

う立場であり地域クラブの指導者もされている。滝川高校に進学希望者がいるとの報告がある。

佐竹 入試も入学もされ

てない未確定者の中でこの後、生徒募集の周知などはできていない。

川上教育次長 当然、入

に計画を進めている。

佐竹 入試も入学もされ

てない未確定者の中での野球部新設計画を進めしていくのか。

試は突破してもらう必要

がある。もし来年度に間に合わなくても環境などは整えていき、部活動の支援はしていく考え方の下

に計画を進めていく。

川上教育次長 このお話が来たのが4月なのでその後、生徒募集の周知などはできていない。**佐竹** 公式に生徒募集で周知していない状況の中、

このような形で野球部が復活されるということだが、非公式な形で入学生徒が確保できているのか。

川上教育次長 検討して**川上教育次長** この話を

いる雇用方法は三つある。

提案していただいた方が



滝川高校野球グラウンド

クリーンセンター銀河の更新計画は

大規模改修による長寿命化で対応

／環境水道課長



村井 真菜 議員

費約26億円という見積り。財源は、起債を活用しての実施となる見込み。

億近くかかる試算となり、次は、広域化の検討も進めなければならない。

戸田環境水道課長 当施設は平成15年2月の供用開始から23年を迎える。主要設備の耐用年数が経過をしたことにより、大規模改修工事が必要。令和8年度から3カ年で実施する計画。総事業費は、戸田環境水道課長 最低でも10年以上は利用延長ができる見込み。仮に新設す

るに、クリーンセンター銀河の今後の長寿命化等の更新計画は。

村井 長寿 命化することができるとにより何年間使うこと

と考えられているか。



クリーンセンター銀河

高校再編計画に対しての取り組みは 両高校と町でアクションプランを策定し 実行と進捗管理をする／企画課長

村井 これまでの高校魅力化の取り組みと成果は。

富田企画課長 高校応援大作戦と銘打ち、公設塾「じゅうく」の開設を始め、生徒会活動や部活動への支援、教育振興会の補助によるi Padの貸与など、学校活動への支援や地域みらい留学による県外生募集、寮生の活動支援、魅力化コーディネーターの配置、給食の提供、通学費の助成、入学祝い金の導入など、様々な取り組みを通じて、生徒数の確保が一定でき、現在でも高校が2校残つているということが、今までの成果。

富田企画課長 両高校と町とで生徒数確保の取り組みに向けアクションプランをそれぞれ策定。その実行や進捗管理に向けて取り組んでいく。



四万十高校

● その他質問

- 太陽熱温水器設置補助金の創設をしては、休廃校舎の維持管理について

介護施設への支援や新設は 今のところ考えていない

／高齢者支援課長



中野 正延 議員

に応じ調整に協力している。2月末までには、利用者全員がかかるべき施設やサービス事業所に移行できるように努める。

中野 介護施設への支援や新設に向けてはどう考えているか。

中野 介護施設への支援

アの閉所について、病院との話し合いや対策はあるか。

三本高齢者支援課長 8

月に運営母体の医療法人から説明を受けた。現利

用者について、施設側と居宅ケアマネジャー側双方の現場担当職員の混乱や不安の声を受け、相談していただきたい。



町長 アザレアのこれまでの貢献には感謝している。今後こういった施設が遊休あるいは閉鎖にならぬよう、支援をしていかなければならぬ

と思っている。

今後、米の価格はどのように推移するのか 一定の価格水準に落ち着くと考える

／農林水産課長

物価高騰対策

中野 四十万町の米の価格は、今後どのように推移するのか。

中野 四十万町の米の価格は、今後どのように推移するのか。

中野 今回の米の

高騰の影響を受けず、住民が安定した低価格で購入できる対策は。

武田農林水産課長 令和

7年7月までの年平均価格2万4790円／60kgは、比較可能な平成2年以降で過去最高の価格となっている。今後、新米が順次供給され、円滑な米の流通が進めば、一定の価格水準に落ち着くと

考えている。

武田農林水産課長 農林

水産省が今年8月に「今般の米価高騰の要因と対応の検証、今後の方針性」を公表している。本町としても、国の施策の動向を注視しつつ支援策を講じたいと考えている。



人件費高騰分は交付税措置されて

いないか

交付税で賄える以上の人事費高騰の影響

下元 真之 議員

のなかに人件費が上がった
方が交付税措置されてい
るのではないか。経常支
出の「人件費が上がった
ために財政が窮屈になつ
た」との説明はおかしい
のではないか

より職員数も多い傾向にある。交付税で貢える以上の人件費高騰の影響を受けている。

収入を 込むべき に経緯はある ／総務課長

下元 ふるさと納税は、今まで寄附金であり経常収入でないことを確認する。

佐竹総務課長 ふるさと納税は、毎年当てにできる約束された性質のもので、

下元 ふるさと納税の基金を活用した新規事業の中で、経常的な支出が発生する事業の考え方は。はないため、臨時の収入として区分されている。

支援基金に積み立てた寄付金は、目的に応じて活用しているが、返礼品代など一定の経費が必要で全額が一般財源で賄われる。

下元 経常的な収入の中で経常経費を貯っていくのが基本であり、臨時は臨時だと考えるが、政策的な判断をしてきた執行部の考えは。

佐竹総務課長 一 定、寄
附金であるふるさと納税の財源を当てにして各種事業に取り組んできた経緯はある。

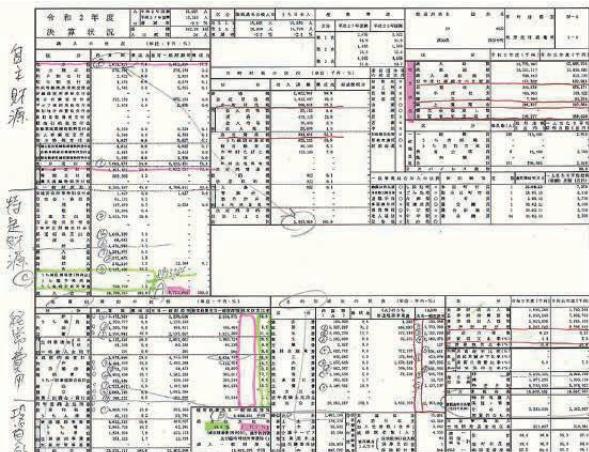
この経費に充てられる一般財源の見合い分をふるさと納税が始まる前から、の継続事業に充て、経費分を差し引いた利益部分で新規や拡充事業に充ててきた経緯がある。

中尾町長 ふるさと納税の返礼品事業は、経的な収入以外の財源を得ようとした。

現在は、経常的費用に充当されている部分があり、そこは危惧している

下元 ふるさと納税は臨時的なお金を集めのため、臨時収入を使い仕組みの中に落とし込

のなかで貯えるのが理想で
あり、収入に対する支出
が調う財政構造が理想だ
と考えている。



四万十町の決算状況

ふるさと納税は臨時収入を使う仕組みに落とし込むべき 当てにして取り組んできた経緯はある

／総務課長

財政運営



今後の対策は 議会から提言のあった婚活事業を 進めていく／町長

味元 和義 議員

中尾町長 様々な施策を実施してきたが、結果として人口減少は止まつてない。

やはり町を挙げて、課題をしつかり町民の皆さんと共有し、議論をしながら、将来に向けてやつていくことが大事と考える。

少子高齢化が進む中、今後の対策について町長の考えは。

年では10組と減少の一途をたどっている。

少している。この20年で人は6579人減るが、合併以降結果を出してい入れ、一定の結果を出している。

味元
町長は移



由間管理住宅

四万十町出会い応援 ヤンターてとてと



様々な部分で子育て支援をしてきたが、そういうふた事業の投資だけでは出生数は増えていない。今後は議会から提言のあつた、婚活事業を議会でていきたい。

四万十町出会い応援 ヤンターてとてと

森副町長 職員数は合併当初からは、特別養護老人ホームの職員数を除けば実質的に2割減の状況にある。

組織を集約することで繁忙期の人員配置等が容易となり、時間外労働も減り能率も良くなるのではないか。

町村合併以降、
員数が減つていなが
の原因は、課が多く、
割りの組織になつてい
からだと考える。課の
合や室の廃止など思い切
つた改革をしなければ
は減らない。

災害時の対応に必要最低限の人数をどの程度局に配置しておくるのか

は、退職者の2分の1採用にとどめていく。また、統合保育所が展望されるという前提に立てば、保育士の採用は当面見送つていくことが現実的な路線となる。

が、今題となる。また、題となる。

職員数と残業
縦割り組織を廃し職員数と
時間外の減少を
課を統廃合し縮小してい

方向性



令和7年6月から令和7年9月定例会まで 各議員の出席状況

○：出席 欠：欠席 ／：参加要請なし

月 日	用務の概要	緒方	下元	武田	山本	林	村井	佐竹	中野	伴ノ内	中屋	水間	味元	橋本	堀本
		正綱	真之	秀義	大輔	健三	眞菜	将典	正延	珠喜	康	淳一	和義	章央	伸一
6月11日	議会改革調査特別委員会	○	○	○	○	○	○	欠			○	○			
6月18日	意見聞き取り調査（仁井田・影野地区）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○
6月21～22日	東京四万十会総会	○			○										
6月22日	令和7年度（第14回）四万十消防団総合演習大会														○
6月25日	広報・広聴常任委員会			○	○	○		○	○	○	○				
7月7日	広報・広聴常任委員会		○	○	○		○	○	○	○	○				
7月8日	産業建設常任委員会	○		○	○	○				○		○	○		
7月8日	総務常任委員会	欠						○	○			○	○	○	○
7月9日	教育民生常任委員会		○			○			○	○	○			○	○
7月16日	広報・広聴常任委員会		○	○	○		○	○	○	○	○				
7月22日	広報・広聴常任委員会（令和7年度議会広報研修）		○	○	○		○	○	○	○	○				
7月31日	令和7年度市町村議会議員研修会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
8月4日	議会運営委員会	○	○	○	○		○			○	○			○	○
8月6日	令和7年第3回臨時会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
8月6日	全員協議会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
8月6日	産業建設常任委員会	○		○	○	○				○		○	○		
8月6日	総務常任委員会	○						○	○			○	○	○	○
8月13日	令和7年度土佐くろしお鉄道中村・宿毛線運営協議会定期総会	○													○
8月18日	国道439号杓子バイパス整備促進期成同盟会令和7年度通常総会	○											○		
8月19日	教育民生常任委員会		○			○			欠		○			○	○
8月22日	第19回高幡町村議員研修会 第55回高幡町村議會議長会臨時総会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
8月24日	第21回四万十大正あゆまつり		○												
8月26日	議会改革調査特別委員会		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
9月1日	議会運営委員会	○	○	○	○		○			○	○			○	○
9月3日	令和7年第3回定例会（開会）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
9月3日	全員協議会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
9月4日	教育民生常任委員会		○			○		○		○	○			○	○
9月5日	総務常任委員会	○						○	○			○	○	○	○
9月5日	産業建設常任委員会	○		○	○	○				○		○	○		
9月9日	令和7年第3回定例会（第7日目）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
9月10日	令和7年第3回定例会（第8日目）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
9月11日	令和7年第3回定例会（第9日目）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
9月11日	全員協議会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
9月12日	令和7年第3回定例会（第10日目）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

*紙面の都合上、議長のみの出席用務（14件）は省略しています。



意思表明

○賛否の分かれた議案なし

○全会一致の議案

【9月定例】議案	結果
議案第69号 訴えの提起について	可決
議案第70号 損害賠償の額を定めることについて	可決
議案第71号 町道路線の変更について	可決
議案第72号 町道路線の変更について	可決
議案第73号 四万十町職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部を改正する条例について	可決
議案第74号 四万十町職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例について	可決
議案第75号 四万十町税条例の一部を改正する条例について	可決
議案第76号 令和7年度四万十町一般会計補正予算（第3号）	可決
議案第77号 令和7年度四万十町国民健康保険事業特別会計補正予算（第1号）	可決
議案第78号 令和7年度四万十町国民健康保険大正診療所特別会計補正予算（第1号）	可決
議案第79号 令和7年度四万十町国民健康保険十和診療所特別会計補正予算（第1号）	可決
議案第80号 令和7年度四万十町大道へき地診療所特別会計補正予算（第1号）	可決
議案第81号 令和7年度四万十町後期高齢者医療事業特別会計補正予算（第1号）	可決
議案第82号 令和7年度四万十町介護保険事業特別会計補正予算（第1号）	可決
議案第83号 令和7年度四万十町特別養護老人ホーム窪川荘特別会計補正予算（第1号）	可決
議案第84号 令和7年度四万十町特別養護老人ホーム四万十荘特別会計補正予算（第2号）	可決
議案第85号 令和7年度四万十町水道事業会計補正予算（第1号）	可決
議案第86号 令和7年度四万十町下水道事業会計補正予算（第1号）	可決
議案第87号 令和6年度四万十町水道事業会計未処分利益剰余金の処分について	可決
認定第1号 令和6年度四万十町各会計歳入歳出決算の認定について	可決
議案第88号 窪川運動場夜間照明LED化等改修工事請負契約の締結について	可決

常任委員会報告

り組んでいくか検討が必要とした。

四万十川保全活用事業

の進捗状況の調査について。

四万十町総合振興計画に沿って事業を精査。

【6月6日開催】

6月定例会に上程され、委員会付託された陳情7

16「消費税減税、インボイス制度の廃止を求める意見書」

について協議し、全会一致で採択。

聞き取り調査での立西

地域における総務常任委員会に係るまとめを行い、

執行部に回答を求めた。

【7月8日開催】

四万十町自治体DXの進捗状況と今後の見通しについて、企画課より説明を受け議論。

【8月6日開催】

四万十町DX推進計画では、「みんなあこじやんとのうがえいデジタル町」というビジョンを掲げ、生まれてから老後ま

.. 来度で対策室を閉じる方針



となつてゐる中、引き続
き各課が取り組む必要が
ある。

教育民生常任委員会

【6月4日開催】

図書館十和分館の現状

と今後の動きについて、

十和地域振興局ならびに
教育委員会と協議を行つ

た。振興局からは、「十

和分館整備検討委員会」

より設置に向けた要望書

が提出され、現在の小中

学校敷地内に設置する検

討案について説明を受け

た。

教育委員会からは、十

和小中学校の老朽化に伴

う新築、改修に関する執

行部の考え方を6月から7

月にかけて保護者、地域

住民への説明を行うこと

にしており、小中学校敷

地内に設置する案につい

ては、今後の方針性が明

確になるまで図書館分館

の議論を掘り下げること

ができる旨の報告を受けた。

日付で委員会付託された

陳情第7-5「国民健康

保険に対する国庫負担の

増額等を求める意見書」

について税務課、町民課

に国民健康保険制度の現

状等について意見を求め

審査を行つた。現行制度

に陳情の願意が可能なの

か、議会として、意見書

とすることについて内容

が妥当なのか、時間をか

けて精査すべきとの意見

が大勢を占め継続審査と

した。

【7月9日開催】

県立高等学校再編計画

について学校教育課から

令和7年度から14年度の

期間とする再編計画の概

要説明を受けた。

特に前期7年度から9

年度における中山間地域、

小規模校に分類される窪

川・四万十高校の生徒数

確保に向けたアクション

プランの策定・実行の動



きについて説明を受けた。

次に、「しまんと町社
会福祉協議会」を訪問し、

町執行部から「令和10年
12月まで移転検討は見送
る」とした提示案につい
て、協議会側の了承確認

をするとともに、福祉活
動の現況について説明を
受け、特に在宅福祉サー
ビスの介護保険事業にお
いて厳しい状況にあるこ
との説明を受けた。また

施設面でとり急ぎ施設改
修が必要とされるトイレ、
浴室等の視察を行った。

その後、東又小学校改
修事業の一貫で5000
万円を超えるエレベータ
ー工事に関して現地調査
を実施した。

【8月19日開催】

健康福祉課に対し、7

月9日に実施した社会福
祉協議会との意見交換の
内容について伝達を行つ
た。施設の改修要件につ

いては課において、既に
検討項目として了知して
いる旨を確認した。

6月18日に仁井田、影
野地区で実施した聞き取
り調査内容を精査し所管
課に伝達・回答を得る必
要のあるものについて仕
分け作業を行った。

また、陳情書第7-15
号「国民健康保険に対する
国庫負担の増額等を求
める意見書」については、
なお引き続き継続審査と
した。

①建設課の多岐に渡る事 業内容について

①にぎわい創出課の所管 事務調査

以上3つをテーマとした。
①建設課の多岐に渡る事
業内容に、委員からも
時代に沿った柔軟な対
応への要望や、毎年予
算が足りなくなる事業
の見直しなど、活発な
意見交換を行った。

②志和の町道認定に関し
て、認定に関する一部
変更ということもあり、
継続で審査を行うこと
とした。町道平串赤草
線の拡幅の陳情につ



社会福祉協議会との意見交換

■産業建設常任委員会

①一次産業を活性化させ る取り組み

②商・観光業を充実させ
る取り組み

この2つを柱としている。

【6月6日開催】

①建設課の所管事務調査
②陳情・請願の審査
③一般廃棄物処理施設の
第2期包括的長期民間
委託事業及び基幹的設
備改良事業について

【7月8日開催】

③今後議題として上がつ
てくる都度、精査をし
ていく。

て、現地視察を行い、
区長、建設課から説明
を受けた。委員一同、
ある一定道幅の拡幅と
いうのは必要という意
見で一致したが、内容
について一部修正が必
要となり、一旦継続で
審査を行うこととした。

見込みが大きいことを一
同感じた。

【8月6日開催】

①町有林管理育成事業の 農林水産課と協議を行 い、町有林の入札につ いては30ha以上の経営

計画が必要であること、
町の職員には積算を行
える人材がないので
外部委託せざるを得な
いことなど、委員から
も早急な支援、改善の
意見も出た。



決算認定

原因は何か。

各会計歳入歳出決算の認定について」が上程され、審議、採決の上、認定された。

令和6年度における各会計歳入歳出決算は、水道事業会計及び下水道事業会計を除く9つの会計決算総額（単純合算）で、歳入243億1072万円（前年度より3.6%減少）歳出239億148万円（前年度より2.2%減少）の決算額となつてゐる。

令和6年度の経常収支比率が96・1%に上昇
Q 審査意見にある
が経常収支比率が
令和5年度93・9%から
2.2%増加している。主な

A 現年度分が1111万8000円、過年度分が1680万円の未収金となつてゐる。今現在の徴収率は98・5%となつてゐる。

運営に努める。
公営住宅使用料の収入未
済額1802万円、不納
欠損額70万1000円

Q 収入未済額の内訳

にあり、年齢も高齢につき収納が今期困難となつ

私立保育所運営費委託料
1517万円

A 新築に際して 14件 中古物件購入に 6 件の利用がありました。

A 累計の登録者数は現在157名とな
っている。利用者からの声は、対応の速さ、不安

人科・小児科オンライン
サービス委託料201万
円こちらが、利用者数

事業内容と令和7年度は予算化されていない理由を示せ。

三活委士賈委成研參高善
ら減額となつたもの。

A 未済額は全て過年
度分の収入未済で
令和6年度調定額252
万3000円に対し、収
入額が94万9000円と
なり、差額が今回収入未
済となつてゐる。

私立保育所の運営費委託料 1517万円

Q 前年度決算から1
500万円となっ
ているが、理由を示せ。
A 私立保育所の運営
費は国・県・市町
村の負担割合で公定価格
により算出され、足りな
い部分を補助金支出して
いる。

主な理由としては、給
食費の食材調達と加配の

A 累計の登録者数は現在157名となつて いる。利用者からの声は、対応の速さ、不安解消ができた、などの声があり好評を得ている。

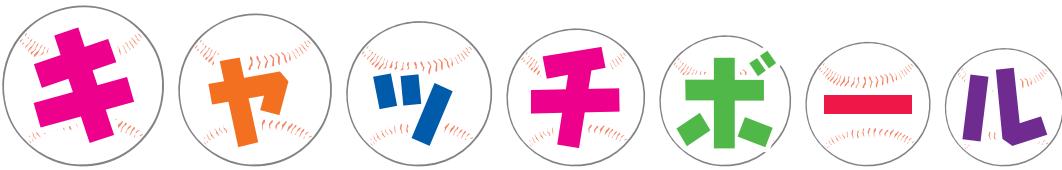
Q 前前年度からする
と減額となつてい
る。

**森林経営管理委託料46万
1000円**

事業内容と令和7年度は予算化されていない理由を示せ。

Q 事業の内訳に産婦
円 出産・子育て応援交付金
事業に401万2000
つてはいる。

令和4年度の意向
調査を経て、森林伐を行つてゐるもので、
令和6年度は広瀬地区の
みの施業であつたことか



このコーナーは町民の皆様からの議会に対する意見や、行政に提言をしてもらいたいこと、また旬の話題などを取り上げて、議会と町民の皆様とのキャッチボールを行うものです。

Q まんと健康ステーション」を開設して、楽しみながら健康になれる取り組みを行っているつて聞いたけど、どんなが

A 令和6年12月1日から「高知家健康パスポートアプリ」で、四十町独自の「あるくポイント」事業がスタートしています。

スマホを持って歩くだけでポイントが貯まり、50ポイント貯まれば町内で使える景品と交換（年間上限6回まで）できるという嬉しい特典付きの事業です。

Q まんと健康ステーション」を開設して、楽しみながら健康になれる取り組みを行っているつて聞いたけど、どんなが

A 令和6年12月1日から「高知家健康パスポートアプリ」で、四十町独自の「あるくポイント」事業がスタートしています。

スマホを持って歩くだけでポイントが貯まり、50ポイント貯まれば町内で使える景品と交換（年

Q 四十万町では「しまんと健康ステーション」を開設して、楽しみながら健康になれる取り組みを行っているつて聞いたけど、どんなが

A 「達成歩数」は、64歳以下の方／1日8000歩以上で1ポイント。65歳以上の方／1日6000歩以上で1ポイントとなっています。

これは普段の生活の中で歩いている歩数に、もうひと頑張り歩く時間を意識すると達成できる「がんばり歩数」ですので、ぜひ楽しみながら毎日の達成を積み重ねてください。

Q 面白いし、えい取り組みやねえ。町民に広くこの取り組みが伝わって健康意識も広がつていいってほしいね。

Q この事業は、慣れ親しんだ四十町で、病気の予防や重症化を防ぎながら、元気でいられる時間を長く、自分らしく生活するために、青年期から健康を意識して過ごすことができるることを目標に取り組みを始めました。

「しまんと健康ステーション」って知つちゅう?

Q どれれば歩いたらなるがよ。

ングイベントへの参加でも貯まります。アプリ内での確認や不明な点は健康福祉課までお気軽にお問い合わせください。

A 青年期から壮年期の働き盛りの世代は、健康づくりへの参加率も低く、関節疾患や糖尿病、高血圧など、生活習慣に起因する疾患も多いので、予防のためにも働き盛り世代へのアプロ

チが重要と考えています。スマホさえあれば健康管理ができる「高知家健康パスポートアプリ」を活用して、楽しみながら健康になる仕組みを開いていきますね。

まずは「高知家健康パスポート」をダウンロードしよう！

New! 歩けば自動でポイントがたまる!
New! 景品が自動で申請できる!

お得！歩いて健康!!

窓口での
打出し不要！

まずは
高知家健康パス
ポートアプリを
ダウンロード
しよう!!



健康イベントなども、随时アプリを通じてお知らせしていきます。

ありやどうよ「ちゅうぜよ

畜産振興事業（養豚）

Q 四十万市営食肉センターの建て替えになんで四十町がお金を出すが。

A 四十万町は、県内

産豚肉の7割以上を生産する畜産の町で、この施設へ多くの豚肉「四十ポーク」を出荷しています。そのため、関係する高知県・四十市・関係市町村が整備費用を分担しています。

Q 「四十ポーク」って聞くけど何軒くらいの畜産農家があるが。



はもちろん、ハムやパテ、ソーセージやチャーシューなどの加工食品も買えます。

から具体的な実施設計を始めで令和8年8月頃から本格的な建設工事が始まります。操業開始は、令和11年2～3月頃の予定です。

稻刈りや地域の様々な文化行事で多忙な季節となりました。十和地域でも十和小学校、十和中学校と校名を変更してから初めての合同運動会が催されました。子どもたちが元気はつらつと楽しんでいる姿には勇気をもらうと同時に、地域も明るくなりました。

秋風の中、子どもたちが元気に駆け抜けっていました。

寒暖差が激しい季節です。お身体をご自愛され日々お過ごしください。

（山本 大輔 記）

Q いつ完成でいつ頃から稼働するが。

A 令和7年9月に事業者が決定し、今

表紙の紹介

「十和小学校・中学校の合同運動会」

校名変更後、初めての運動会。

秋風の中、子どもたちが元気に駆け抜けっていました。



【広報広聴委員会】

委員長 武田 秀義
副委員長 中野 正延

委員員長 山本 大輔
村井 真菜
佐竹 将典
伴ノ内珠喜
中屋 康
下元 真之

編集後記